

別表2 第1号様式別紙1

神奈川県既存住宅省エネ改修事業費補助金事業計画

登記事項証明書（建物の所在）のとおり記載すること。

1 補助事業の概要

補助対象住宅の地番	横浜市中区〇〇字〇〇123-3-1		
補助対象住宅の住居表示	横浜市中区〇〇町123-45		
事業着手予定日	年	月	日
事業完了予定日※1	年	月	日
改修工事の種別 (該当する□に「✓」)	<input checked="" type="checkbox"/> 窓(玄関ドア等含む)※2 <input type="checkbox"/> 壁 <input type="checkbox"/> 天井 <input type="checkbox"/> 床		
併用する国補助	<input checked="" type="checkbox"/> 先進的窓リノベ <input type="checkbox"/> みらいエコ住宅 <input type="checkbox"/> その他(            ) <input type="checkbox"/> 併用なし		

該当箇所に「✓」を記載すること。

※1 改修工事完了及び改修工事代金の支払いが完了する予定日を記載すること。

※2 必須工事

2 補助事業に係る経費

補助の対象となる経費（税抜）（改修工事箇所の材料費と労務費を記載すること。）

改修工事箇所	材料費	労務費	合計
窓 (1)	709,000	50,000	759,000
壁 (2)			
天井 (3)			
床 (4)			
①改修工事箇所の合計額（税抜）			759,000

改修工事箇所ごとの金額を記載すること。

国補助金申請（予定）額が変更になると、申請額も変更になる場合があります、その場合、変更手続きが必要になるので正確な額を記載するよう注意すること。

補助事業に関する経費

①補助対象経費 (改修工事箇所の合計額)	②補助対象経費に5分の1を乗じた額 (千円未満切捨て)	③国補助金申請 (予定)額	※3
759,000	253,000	182,000	150,000

※3 ②+③<①の場合 ②で算出した額又は150,000円のうち、いずれか低い額

②+③>①の場合 (②+③)-①の差額分を②から控除した額又は150,000

いずれか低い額

ここに記載した金額が交付申請額となる。

3 補助対象経費の明細

(1) 窓改修工事の材料費、労務費

国補助金の交付申請額を記載すること。

■ 材料費

No.	国補助金 製品(登録)型番	メーカー名 /製品名	数量 (a)	単価(円) (b)	金額(円) (a) × (b)	国補助金 申請額
1	AA1234WB	〇〇工業 /〇〇窓	1	359,000	359,000	68,000
2	AA5678BB	〇〇工業 /〇〇窓	1	175,000	175,000	68,000
3	AA32XX	〇〇工業 /〇〇窓	1	175,000	175,000	46,000
4						
5						
6						
7						
8						
材料費合計額					709,000	182,000

見積書、図面、写真にも共通の通し番号を振り、照らし合わせられるようにすること。

注 No. は図面、写真、積算に関する根拠（見積書等）に対応するよう付番すること。

■ 労務費

改修工事内容	金額(円)
窓施工費	50,000
労務費合計額	50,000

補助対象となる改修工事箇所に係る労務費を計上すること。

注 欄が不足する場合は、適宜追加すること。

注 金額は税抜き、値引き後の金額とすること。





